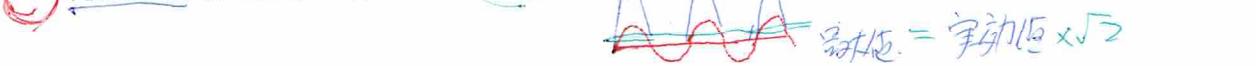


A - 20 図に示す電源の整流回路の特徴として、正しいものを下の番号から選べ。ただし、交流入力は、実効値が E [V] の正弦波とし、回路は理想的に動作するものとする。

- 1 全波整流回路で、出力電圧の最大値は、約 $\sqrt{2} E$ [V] である。
- 2 全波整流回路で、出力電圧の最大値は、約 $2\sqrt{2} E$ [V] である。
- 3 半波整流回路で、出力電圧の最大値は、約 $2E$ [V] である。
- 4 半波整流回路で、出力電圧の最大値は、約 $\sqrt{2} E$ [V] である。
- 5 半波整流回路で、出力電圧の最大値は、約 $2\sqrt{2} E$ [V] である。



B - 1 次の記述は、電流と電圧について述べたものである。□内に入るべき字句を下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には、同じ字句が入るものとする。

- (1) 電流の大きさは、導線の断面を毎秒通過する □ア□ で表すことができる。1秒間に □イ□ の □ア□ が通過するとき、その電流は 1 [A] となる。
- (2) 導電性物質上の 2 点間の電位差 V [V] と、その間に流れる電流 I [A] の間には、定数を R [Ω] とすると、 $V = RI$ 又は $I = V/R$ で表される関係が成り立つ。これを □ウ□ の法則といい、比例定数 R [Ω] を □エ□ という。また、 R の逆数 G [S] を □オ□ という。

- 1 磁気 2 1 [T] 3 ファラデー 4 キャパシタンス 5 抵抗
6 電気量 7 1 [C] 8 オーム 9 コンダクタンス 10 インダクタンス

6 7 8 5 9

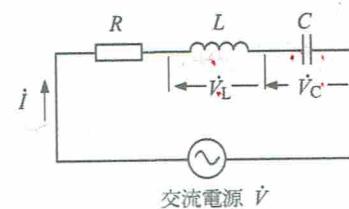
IC 電気量

B - 2 次の記述は、図に示す抵抗 R 、コイル L 及びコンデンサ C の直列回路について述べたものである。□内に入るべき字句を下の番号から選べ。

- (1) 回路が電源の周波数に共振したとき、回路のインピーダンスは □ア□ になり、リアクタンス分は零になる。また、回路を流れる電流 i の大きさは、□イ□ となる。
- (2) (1)のとき、 L の両端の電圧 \dot{V}_L と C の両端の電圧 \dot{V}_C は、大きさが □ウ□、位相の差は □エ□ 度であるので打ち消し合う。
- (3) (1)のとき、回路を流れる電流 i と交流電源 \dot{V} との位相差は、□オ□ 度である。

- 1 等しく 2 最小 3 180 4 0(零) 5 約半分
6 異なり 7 最大 8 90 9 45 10 無限大

2 7 1 3 4



R : 抵抗
 L : コイル
 C : コンデンサ

B - 3 次の記述は、折返し半波長ダイポールアンテナについて述べたものである。□内に入るべき字句を下の番号から選べ。ただし、波長を λ [m] とする。

- (1) 二線式の折返し半波長ダイポールアンテナの給電点インピーダンスは約 □ア□ [Ω]、実効長は □イ□ [m] であり、利得は半波長ダイポールアンテナ □ウ□。同じ
- (2) アンテナの折返し導体の本数を多くしたり、その導体を □エ□ したりすることにより、周波数特性は半波長ダイポールアンテナに比べてやや □オ□ となる。

- 1 太く 2 292 3 λ/π 4 狹帯域 5 とほぼ同じである
6 細く 7 73 8 $2\lambda/\pi$ 9 広帯域 10 より約 3 [dB] 高くなる

2 8 5 1 9

